

八王子市子どもすこやか宣言普及啓発事業

平成17年度

ほうこくしょ
子ども会議報告書

～わたしたちが考えるまちづくり～

ばん
ダイジェスト版



主催：八王子市こども家庭部



「八王子市子どもすこやか宣言」を知っていますか？

「自然がたくさんある八王子で、いきいきと生活し自分の可能性を伸ばして欲しい。」

「まわりの人と信頼しあえる関係を大切に、健康で個性豊かに成長して欲しい。」

そんな願いをこめて

国連の「子どもの権利条約」の考え方を取り入れながら、市では平成13年2月に「八王子市子どもすこやか宣言」を行いました。

八王子市は市域が広いので、5つに分けて、子どもに関するいろいろな計画を考えたり、イベントを開いたりしています。それぞれの場所を第1～第5ブロックと呼んでいます。

「子どもの権利条約」の考え方を広く知ってもらうための、ひとつの方法として、地域のみなさんと協力して、ブロックごとに「子ども会議」を開いています。

「子ども会議」は、国連の「子どもの権利条約」第12条“意見表明権”の考え方をもとに、子どもが「自分の考えや意見、気持ちを自由に発表できる機会をつくること」を目的にしています。



5ブロック 自分のまちのお豆腐屋さんで・・・



4ブロック アンケートにドキドキ



3ブロック 子どもの夢まちマップ



2ブロック のこぎりで木を切るよ



「意見」は発表会のような場所で発言することだけではなく、自分の感じていること、悩んでいることなどを周りのひとに、「きいて！」と言葉で伝えることも意見の表明です。

また、ブロックごとに行うことで、自分のまわりに住んでいる地域の大人たちに「きいて！」と気持ちを伝えること、向き合ってもらうことができます。

自分の気持ちを言葉で人に伝えることは、同時に自分だけでなく、周りの人の気持ちを理解することになります。意見を交換することで、大人もきちんと子どもに向き合う練習になるのです。

「子ども会議」という名前は、少し難^{むずか}しそうですが、ブロックごとに工夫した楽しい内容になっています。体を動かしたり、住んでいるまちにある自然の中で遊んだり、まちにでかけてアンケートをとったりしながら、大人たちに「自分はこうしたいんだよ」「本当はこんなこと考えているんだよ」というメッセージを表現しています。

また、今年は地域のみなさんの協力で「子ども会議^{じっこういんかい}実行委員会」をブロックごとにつくりました。「何をするか？どんなふうにやるのか？」ということから始まり、すべてを実行委員会のみなさんが運営してくださいました。ありがとうございました。

ここでは、平成17年度子ども会議の様子をダイジェスト版としてまとめました。

報告書^{ほうこくしょ}の内容は、ブロックの実行委員会^{じっこういんかい}が作成したものをみながら、子ども政策課^{せいさくか}が一部書き加えたりなおしたりしています。

また、報告書本編^{ほうこくしょほんぺん}は冊子のほか、八王子市のホームページなどでも見られるようにする予定です。

平成18年3月 八王子市子ども家庭部子ども政策課



第1ブロック(八王子市の^{なんせいぶ}南西部地域)

子どもが考えるまち

～あそびながら、まちの自然をかんがえよう！～



日時

平成17年11月26日(土)

13:30~15:30

場所

ながぶさしみんせんたーたいいくしつ
長房市民センター体育室

みなみあさかわかせんじき
南浅川河川敷



川の土手をよじ登れ~!!

「第1ブロック子ども会議実行委員会」のメンバーは、第1地区主任児童委員、第7地区主任児童委員、第13主任児童委員、第15地区主任児童委員、ブロック内の^{じどうかん}児童館、^{ほいくえん}公立保育園、^{かていしえん}子ども家庭支援センター、子育て支援課、市民ボランティアのみなさんです。

しんぶんづくり



「子どもが考えるまち」について、当日は63名の子どもと地域のおとなが一緒になって、遊びを通じて考えてみました。

まず始めに、自然にあるものをつかって、大人の方の手ほどきを受けながら、昔のいろいろな遊びを体験しました。

「^{しのたけてっぼう}篠竹鉄砲」を使った^{まとあ}的当てや「^{くさぶえ}草笛」「^{しんぶん}自然の色を使ったゲーム」など南浅川の河原で、1時間ほど遊びました。

昔の遊びを体験した子どもの中には、^{しどう}指導をしてくださった大人の方に「これからいろいろと教えてください!」とお願いをしたり家に帰ってから^{まとあ}家族的^{しまん}的当てゲームの話を自慢げにしたりと、初めての体験を^{こうふんぎみ}興奮気味に話す子もいたようです。

そんな気持ちのまま、子どもが考えるまちづくりについて、意見や考え方を表したのが、「こども^{しんぶん}新聞」です。新聞のタイトルから、意見の^{ちようせい}調整まですべてを、参加した子どもたちで作成しました。「自分の住む町じまん」や「こんなものが町にあつたらいいな」などをみんなで考えてつくりました。



第2ブロック(八王子市の^{ほくとうぶ}北東部地域)

さとやま

里山であそぼう

～自然体験をとおしてわたしたちのまちを考えよう～



日時

平成17年10月22日(土)

13:30～15:30

場所

おおやりよくちほぜんちいき こみやこうえんひしがわ
大谷緑地保全地域(小宮公園東側・
ふじみだいはいくえんきたがわぞうきばやし
富士見台保育園北川雑木林)

第2ブロック子ども会議実行委員会のメンバーは、第5地区及び第6地区主任児童委員、第1地区及びひよどり山地区青少年対策地区委員会、児童館、公立保育園、子ども家庭支援センター、市民ボランティアのみなさんです。また、当日は^{はちだいらりょくゆうかい}八大緑遊会のみなさんに協力していただきました。

各児童館、^{がくどうほいくじょ}学童保育所からみんなで「街の中では、どんな音が聞こえるのか？」を調べながらゆっくり歩いて、^{おおやりよくち}大谷緑地に集合しました。



雑木林の中の体験にワクワク・・・



うまく木が切れるかな？

大谷緑地では4グループに分かれ、^{はちだいらりょくゆうかい}八大緑遊会のみなさんに教えていただきながら

「^{ぞうきばやし}雑木林の探検」 「^{のこぎり}鋸で木を切る体験」

「^ま三つの違う色の葉っぱを集めるゲーム」

「^{まちが}林の中から人工の物を見つけ出す間違い探しゲーム」

などをみんなで楽しく体験し、その後、自然や環境についてのお話をしていただきました。

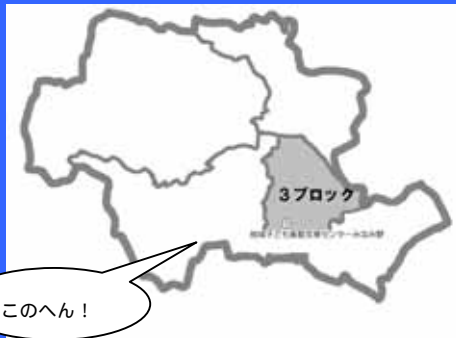
最後に、歩きながら聞いた「^{まちが}まちの音」と、自分たちの身近な場所にあった「自然の中(雑木林)で聞いた音」の違いなどについて、子どもたちが発表しました。

そして、自然や環境について話を聞いたり、発表した後に、自分たちのまちの良いところ・悪いところ・どんなまちが良いのかなどについて、子どもたちが意見や感想を話し合いました。



第3ブロック(八王子市の中央部地域)^{ちゅうおうぶ}

みんなで作ろう! 子どもの夢まちマップ^{ゆめ}



日時

平成17年9月10日(土)

13:30~16:30

場所

北野市民センターホール



子ども実行委員長の審査発表

第3ブロック子ども会議実行委員会のメンバーは、^{じっごういん}実行委員として高校生の子ども実行委員、北野地区青少年対策地区委員会会長、北野地区主任児童委員及び児童委員、由井第一小学校、長沼小学校、打越中学校、片倉高校、学生ボランティア、^{じんけんようご}人権擁護委員、ボランティアのみなさんです。事務局は児童館、公立保育園、地域子ども家庭支援センター、こども政策課で担当しました。

みんなの前で発表、伝わるかな?



「子ども実行委員」を結成し、当日の^{きかくうんえい}企画運営は、できるだけ子どもたちでできるようにしました。大人はサポーターになり子どもたちを^{おうえん}応援することにしました。北野地区で子ども会議が開かれるのは、今年で2年目。高校生実行委員からは、昨年の反省から^{せっきよくてき}積極的なアイデアや意見が出されました。

まず、最初におとなと子どもが楽しく人間オセロゲームなどをして遊びました。第2部では5~6人で1グループに分かれて模造紙の上に「こんなまちにしてみたい」という自分たちのゆめまちマップを作りました。最後には、^{ぶたい}舞台上で「グループ発表」を行い、子どもを含めた実行委員の方たちに^{しんさ}審査してもらい、審査員からの獲得ポイントが一番多かった優秀なグループに「ゆめまちマップ大賞」が送られました。当日の司会進行や、会場の準備なども、子ども実行委員がイベントを成功させるために^{いっしょうけんめい}一生懸命がんばっていました。子ども委員長からは、最後に「子ども実行委員だけでは、成功できなかったと思います。地域のみなさん、来年もまた協力をお願いします。」との挨拶がありました。



第4ブロック(八王子市の東部地域)

子どもアンケート隊！



アンケートの日時・場所

平成 17 年 8 月 27 日 (土) 15 : 00 ~ 16 : 00

上柚木中学校夏祭り会場

平成 17 年 9 月 3 日 (土) 15 : 00 ~ 16 : 00

京王線南大沢駅 駅前

平成 17 年 10 月 1 日 (土) 15 : 00 ~ 16 : 00

中郷公園南大沢市民センター祭り会場

第4ブロック子ども会議実行委員会のメンバーは、第15主任児童委員、16地区主任児童委員、児童館ボランティア、児童館、公立保育園、地域子ども家庭支援センターのみなさんです。

「子どもアンケート隊」は、子どもの考えや意見を、アンケートを子どもたち自身が集めることで、いろいろな人の考え方を知ることができました。またその結果を発表することで、自分たちの意見を広く周りの人に知ってもらおう、ということを目指しました。

子どもたちで

アンケートの中身を考え

屋外(街頭)でアンケートをとり

結果(報告)の作成をしました。

まちで見かけた知らない人に、声をかけて内容を説明し、話を聞きながらアンケート用紙にその場で記入していきました。最初はなかなか声をかけられなかった子どもたちもうまくいったり失敗したりしながら、最後には参加した多くの子どもたちから「楽しかった!」との感想がきました。



知らない人に声をかけるのは緊張・・・



アンケートの内容

Q1 よく遊んでいる場所はどこですか？

Q2 何人で遊びますか？

Q3 今好きな人はいますか？

Q4 学校で楽しいことはありますか？

Q5 学校で楽しいことは何ですか？

Q6 学校が休みの日はどんなことをしていますか？



第5ブロック(八王子市の^{きたせいぶ}北西部地域)

はっぴょう
みつけよう! 発表しよう!

すば
「町のここが素晴らしい!」



このへん!

日時

平成17年10月2日(日)

13:30~16:00

場所

もとはちおうじむしょ 2かいしゅうがいじょ ちいきこ
元八王子事務所2階集会所(地域子
ども家庭支援センター元八王子)

近所の公民館にすごいシアタールーム!



第5ブロック子ども会議実行委員会のメンバーは、第9地区主任児童委員、第10地区主任児童委員、第11地区主任児童委員、大学生ボランティア、児童館、公立保育園、地域子ども家庭支援センターのみなさんです。



第5ブロックのなかをさらに川口・恩方・元八王子3つの地域に分けて、「プチ子ども会議」として、自分たちのまち探検をしました。

子どもたちの考える、こんなものがあたらいいな、こういうものがある、こんな人を知っているなど、子どもたちの視点で

自分の住んでいる地区(川口、恩方、元八王子)の^{じまん}自慢や^{すば}素晴らしいところを発掘し発表しました。そして、自分たちの住んでいる町のお豆腐屋さん、町に住んでいるすごい人、すごいもの・有名な場所、楽しい場所など、子どもたちが自分で調べ、取材先を決めて訪問しました。

その結果をまとめたものを、^{ちいきこ}地域子ども^{かていしえん}家庭支援センター元八王子^{もとはちおうじ}オープニングフェスタの場で発表しました。



【参考】「子どもの権利条約」ってどんなもの？



こども けんりじょうやく 「子どもの権利条約」

(本当の名前は「児童の権利に関する協約」といいます。)

1989年に、アメリカのニューヨークにある国連本部というところに、世界の色々な国の代表者が集まり、国連総会という会議が開催され、世界ではじめて子どもの権利に関する条約ができました。

条約とは、国と国の間で決めた約束ごとです。

日本は1994年に「子どもの権利条約」守ることを世界に約束しました。



けんりじょうやく けんり 「子どもの権利条約」の権利ってどんなもの？

国連の「子どもの権利条約」の中の「権利」は、大きく次の4つのグループに分けられます。

生きる権利・・・人が生きていくのに必要なものを求める権利

育つ権利・・・自分の能力を伸ばすために教育を受けたり、休んだり、遊んだりする権利

守られる権利・・・虐待や、搾取から守られる権利

障害などがある子どもは守られる権利

参加する権利・・・自由に意見を言ったり、みんなで活動したりできる権利



「権利」ってなんだろう？

ただ自分が「欲しいから、やりたいから」要求するのは「権利」ではありません。自分が生活する上で本当に「必要」なものを要求することが「権利」です。たとえば、次のどれが「権利」でしょうか？

- | | | |
|--------------------|-----------------|--------|
| ゲーム | 自分の部屋 | きれいな洋服 |
| 病気やケガをしたとき治してもらうこと | | きれいな空気 |
| のどが渴いたときに清潔な水を飲むこと | | |
| お菓子 | 自分の考えを聞いてもらえること | |

答えは次のページだよ





八王子市子どもすこやか宣言

- 1 わたしたちは、人にはみんな違いがあり、みんなよいところをもっていることを認め、お互いに相手を尊重します。
- 1 わたしたちは、がまんすることの大切さを理解するとともに好きなことの夢をもち、元気にくらしします。
- 1 わたしたちは、しっかりと自分を表現し、自分の意見や行動に責任をもちます。
- 1 わたしたちは、子どもたち1人ひとりが大切にされ、安心して生活できる家庭を望みます。
- 1 わたしたちは、家庭や学校そして地域で学習する楽しさがわかり自分の可能性を伸ばすことのできる環境を求めます。

平成13年2月4日 八王子市



権利の答えは、

わかったかな？



17年度子ども会議報告(ダイジェスト版)

平成 17 年度子ども会議報告書

(ダイジェスト版)

このダイジェスト版は、10歳くらいの子どもたちから大人までが読んで理解できるように配慮して作成しました。

平成 18 年 3 月 発行

編集・発行 八王子市こども家庭部こども政策課

電話 042-620-7391【直通】